

かんきつ(たんかん・津之輝)栽培暦 [未結果樹]

令和5年12月

月	旬	生育相	主要管理	備考
1	上 中 下	休眠期	(防風帯ビニル設置) 施肥(牛ふん堆肥: 200kg/10a) ※定植2年目以降	(<input type="checkbox"/> 健全な樹勢維持) <input type="checkbox"/> 地力増進(樹冠外側に局部施用とする)
2	上 中	萌芽前	防除(ムッシュポルドーDF: 1,000倍+クレフノン: 200倍) 誘引固定部チェック(食い込み部分の解除)	<input type="checkbox"/> かいよう病, そうか病対策 <input type="checkbox"/> 樹の衰弱防止
	中 下	春芽萌芽期	施肥(硫安: 15kg/10a) 防除(デランフロアブル: 1,000倍)	<input type="checkbox"/> 健全な樹勢維持 <input type="checkbox"/> そうか病対策(かぶれに注意)
3	上	春芽伸長期	防除(スタークル顆粒水溶剤: 2,000倍) 防除(コサイド3000: 2,000倍+クレフノン: 200倍 +アピオンE: 1,000倍) 葉面散布(尿素500倍: 10日間隔で3回) 施肥(あまみオール14: 15kg/10a) 摘心(春枝を15cm程度でピンチング)	<input type="checkbox"/> アブラムシ対策(発生がみられた場合) <input type="checkbox"/> かいよう病対策+蒸散防止 <input type="checkbox"/> 新梢の迅速な充実硬化 <input type="checkbox"/> 枝の早期硬化, 間延び防止, 棘抑制(津之輝)
	中 下			
4	上 中	春芽硬化期	防除(アクタラ粒剤5: 30g/樹) ※樹冠下播き 施肥(トロピコート: 10kg/10a)	<input type="checkbox"/> ミカンハモグリガ対策(夏芽まで約3か月有効) ※あくまで, 液剤散布の補完
	中 下		発根伸長期	
5	上 中	五月芽萌芽期	芽かき(上が外芽になるように枝当たり2本に制限) 防除(エクシレルSE: 100倍) 防除(コサイド3000: 2,000倍+クレフノン: 200倍)	<input type="checkbox"/> 健全な樹勢維持 <input type="checkbox"/> 過密防止, 樹冠内の無効容積排除 <input type="checkbox"/> ミカンハモグリガ・アブラムシ・ゴマダラ対策 <input type="checkbox"/> かいよう病対策
	中 下			
6	上 中	五月芽硬化期 発根伸長期	葉面散布(尿素500倍希釈液) ★10日間隔で3回 摘心(五月芽を15cm程度でピンチング) 施肥(奄美果樹配合: 30kg/10a)	<input type="checkbox"/> 発芽勢の確保・新梢の迅速な充実硬化 <input type="checkbox"/> 枝の早期硬化, 間延び防止, 棘抑制(津之輝) <input type="checkbox"/> 健全な樹勢維持
	中 下			
7	上 中	夏芽萌芽期	誘引固定部チェック(食い込み部分の解除) 芽かき(上が外芽になるように枝当たり3本に制限) 防除(エクシレルSE: 100倍) 防除(コサイド3000: 2,000倍+クレフノン: 200倍 +アピオンE: 1,000倍)	<input type="checkbox"/> 樹の衰弱防止 <input type="checkbox"/> 過密防止, 樹冠内の無効容積排除 <input type="checkbox"/> ミカンハモグリガ・アブラムシ・ゴマダラ対策 <input type="checkbox"/> かいよう病対策+蒸散防止
	中 下			
8	上 中	夏芽硬化期 発根伸長期	葉面散布(尿素500倍希釈液) ★10日間隔で3回 摘心(夏芽を15cm程度でピンチング)	<input type="checkbox"/> 発芽勢の確保・新梢の迅速な充実硬化 <input type="checkbox"/> 枝の早期硬化, 間延び防止, 棘抑制(津之輝)
	中 下			
9	上 中	秋芽萌芽期	芽かき(上が外芽になるように枝当たり1本に制限) 防除(アクタラ顆粒水溶剤: 2,000倍) 施肥(奄美果樹配合: 30kg/10a) 防除(コサイド3000: 2,000倍+クレフノン200倍)	<input type="checkbox"/> 過密防止, 樹冠内の無効容積排除 <input type="checkbox"/> ミカンハモグリガ・アブラムシ対策 <input type="checkbox"/> 貯蔵養分蓄積 <input type="checkbox"/> かいよう病対策
	中 下			
10	上 中	秋芽硬化期	防除(フェニックス顆粒水和剤: 4,000倍) 摘心(秋芽を10cm程度でピンチング)	<input type="checkbox"/> ミカンハモグリガ対策 <input type="checkbox"/> 枝の早期硬化, 間延び防止, 棘抑制(津之輝)
	中 下		発根伸長期	<input type="checkbox"/> 樹の衰弱防止
11	上 中 下	枝梢 管理	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■ 樹冠拡大が良好で, 翌年から着果開始と判断した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> → ①未充実の秋芽のみを除去する → ②全体の1/3程度の枝を夏芽途中まで強めに切り返す(翌年の春芽を確保する) → ③津之輝については, 主軸枝をやや開張気味に誘引して整枝を行う <p>■ 樹冠拡大が不十分で, 翌年も未着果で育成継続と判断した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> → ①全枝の先端部分を1/3程度切り返す(弱い場合は夏枝部分まで切り込む) → ②12月のうちに, ジベレリン25ppm+尿素300倍を混用散布する </div>	
12	上 中 下			

- ★ 1) 発芽のタイミングは, 上記の時期と実際にズレが生じる可能性あり
 2) 台風襲来前には, コサイド3000(2,000倍)+クレフノン(200倍)を散布する
 3) 上記の施肥量はあくまで目安であり, 枝梢の伸長程度や葉色を勘案して, 適宜調整する